

保 I	科目名：福祉と養護	単位数：2 単位 授業形態：講義
担当講師：柏木 恭典		
テキスト及び参考文献： 『赤ちゃんポストと緊急下の女性－未完の母子救済プロジェクト－』（北大路書房、2013） 柏木 恭典		
講義概要： <講義日程> 平成 29 年 8 月 1 日（水）・2 日（木）・3 日（金） 9:20～16:40 4 日（月） 9:20～15:00 <目標> 本講義では、「赤ちゃんポスト」に焦点を当て、「児童家庭福祉」と「社会的養護」の現実に迫る。親が子の養育を拒絶したり、放棄したりする事実に対して、われわれは（制度的に、又実践的に）何をどう考えればよいのか。そこから、「社会福祉」の根本問題を議論する。それと同時に、赤ちゃんポストは「教育的実践」とも言える。社会福祉と教育の関連（たとえばケア）についての理解も深めたい。 <内容> 1. 個性か集団か －「福祉」と「教育」が求めるものの相違－ （1）個性に力点を置く福祉、集団を大切に教育というイメージ （2）ペスタロッチにみる福祉と教育の共通点 2. セツルメント・ムーブメント －社会福祉の歴史に学ぶ－ （1）友愛訪問とセツルメント活動 （2）「社会的弱者」の立場を徹底的に尊重する実践哲学 3. 子どもの命を守ること、子どもの権利を守ること （1）児童家庭福祉の一分野としての保育 （2）子どもの生命の保護 －法と条約・制度と実践－ （3）子どもの権利の擁護 －法と条約・制度と実践－ 4. 嬰兒殺し、児童遺棄、児童虐待 （1）望まない妊娠による望まない出産 －妊娠葛藤と赤ちゃんポスト－ （2）母子保健・母子福祉の問題 （3）「被害者」としての女性、「加害者」としての女性 －DV と児童虐待－ 5. 社会が子どもを育てること －社会的養護－ （1）家庭的養護と施設養護 （2）乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設の子どもたち （3）特別養子縁組という選択肢 6. ソーシャルワークと保育 （1）ドイツの社会福祉教育学に学ぶ （2）子どもの生活世界全体からその子の問題を考える （3）ケアの実践 －心理学的アプローチと社会福祉教育的アプローチ－		

7. 赤ちゃんポストから「福祉と養護」について考える

- (1) ドイツの幼稚園で生まれた赤ちゃんポスト (Babyklappe)
- (2) シュテルニパルクの理論と実践 ー新教育と反権威主義ー
- (3) 蓮田太二とこうのとりのゆりかご ー社会的養護への問いー
- (4) 実践者と政治参加 ー専門職としての自律的实践者ー
- (5) 日本における児童家庭福祉と社会的養護の根本的課題

8. 社会福祉、児童家庭福祉、社会的養護の制度体系について

予習・復習・課題等：

テキスト・参考文献に基づいて、そのつど示す。

評価方法：

レポート 40%、終盤に行う試験 60%。